

喪主挨拶（夫）

老妻に苦勞させた話

本日はご多用のところ、皆様方には亡き妻のために、わざわざご会葬いただきまして、誠にありがとうございました。誠にありがとうございました。

おかげを持ちまして葬儀も滞りなく終えさせて頂きました。皆様方のあたたかいお心に見送られて、妻もきつと喜んで浄土におもむいたことと存じます。生前から色々とお世話をいただきました皆様方に、故人に代わり厚くお礼を申し上げます。

妻は行年七十三歳。わがままな私に四十年間もよくつかえてくれました。これといった趣味もなく、ただ黙々と働いている姿を思い出しますと、もっと好きなことをさせてやっていたらと、今更ながら後悔の念が沸き上がってまいります。

おかげさまで娘も孫達も元気でいますが、とりあえず私は皆様に迷惑のかからぬよう、妻の位牌を守ってこの家で生活するつもりでございます。どうぞ、これから変わらぬお付き合いのほどをよろしくお願いいたします。どうも本日はありがとうございました。